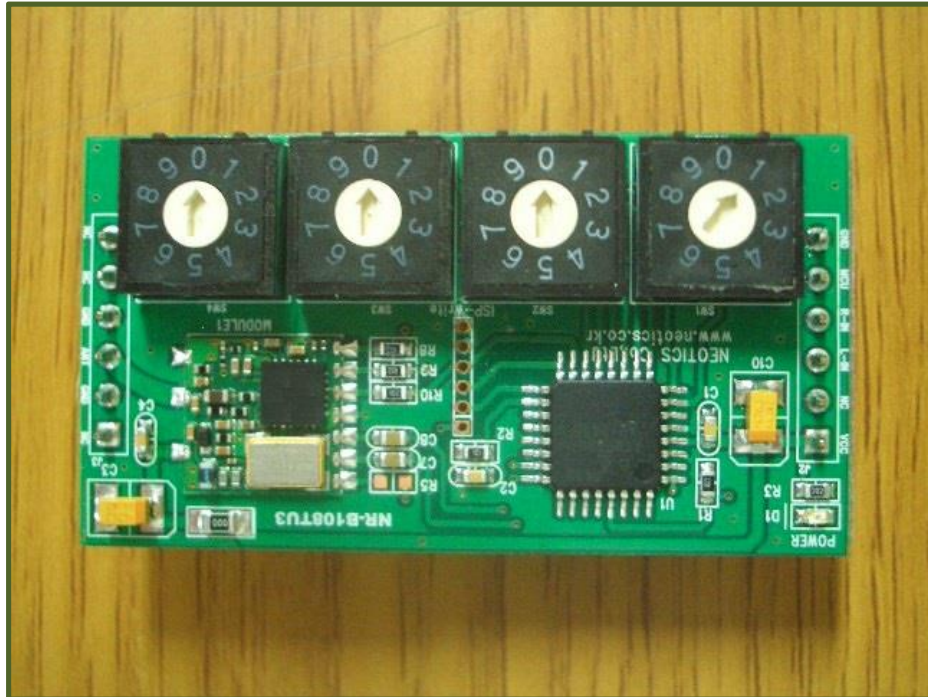


PLL方式 FMステレオラジオ用送信機ユニット (NR-B108TU3 Ver7.3)

関連製品 : NR-B108RM(PLL方式 FMステレオラジオ(受信機)モジュール)
NR-B108RU(PLL方式 FMステレオラジオ(受信機)ユニット)
NR-B108TM3(PLL方式 FMステレオラジオ用送信機モジュール)



. PLL方式 FMステレオラジオ用送信機ユニット

- * この送信機はPLL方式の超小型FMステレオ・オーディオ送信機で一般家庭にあるFMラジオ(Radio or Receiver) 等に無線で音声および音楽信号等をステレオ信号で送信できる無線送信機です。
- * 一般的に使用されている送信機は単一周波数またはいくつかの定められた周波数で送信しますが、このPLL FMステレオ・ステレオ送信機は 88-108MHz範囲内の全ての周波数に対してステレオ・オーディオ送信が可能な超小型送信機です。
- * 超小型に開発されており、貴社のあらゆる製品サイズに対応出来ます。特に小型の電子機器に容易に実装できます。(MP3、PDA、携帯電話機、その他、小型電子機器等)
- * このユニットには4個の周波数設定用スイッチ または CPU(MCU)が内蔵していてRS-232C Portを使ったシリアル通信で簡単に周波数設定が可能です。
 - . 周波数設定スイッチ 制御：
 1. 例) 92.6MHz ----> "0""9""2""6"でスイッチを設定すれば良いです。
 - . CPU(Micom)制御：
 1. 周波数設定用のスイッチ(4個)を "0000"で設定してください。
 2. CPU(MCU)との通信設定：9600-8-1-N.
 3. 例) 107.7MHz ----> “107.7M” のデータを送ります。

- 特徴 -

- * 放送用周波数帯：88-108MHzに対してステレオ送信が可能です。
- * PLL方式なので周波数安定度が高いです。
- * 超小型に製作されており(SMD-Type), 貴社のあらゆる機器にも容易に装着が可能です。
- * CPU(Micom)で容易にコントロールが可能です。(コントロール方法提供)
- * DC 3V単一電源で動作が可能です。(必ず安定化電源を使用すること。)

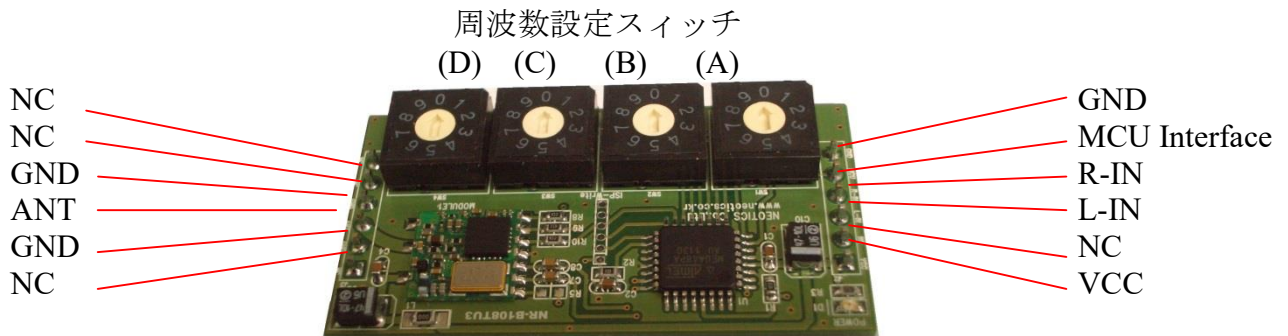
- 用途 -

- * Small Size FM Radio.
- * Portable TV.
- * MP3, PDA, Telephone & Mobile.
- * CAR Navigation.
- * Game machine.

. PLL方式 FMステレオラジオ用送信機ユニットの仕様

区分	仕様
使用電圧	DC 3V
消費電流	15mA以下
受信周波数	88Mhz - 108Mhz
送信(RF)出力	-3dBm以下
制御方法	CPU(MCU) : 3-Wire Bus

. PLL方式 FMステレオラジオ用送信機ユニット



- VCC : 電原 DC 3Vの(+)を連結
- MCU Interface : CPU(Micom)を利用してこの受信機を制御する時に使用。
(Serial Data(TTL-Level)を連結 (9600-8-1-N)
(必ず周波数設定スイッチを“0000”で設定)
- NC : 使用しない。
- GND : 電原 DC 3Vの(-)及び CPU(Micom)の GNDを連結
- ANT : アンテナ端子。
- R-IN : オーディオ信号入力(右)
- L-IN : オーディオ信号入力(左)

*** 周波数スイッチの設定 ***

- A : 100MHz単位の周波数の数字を回して合わせる。
- B : 10MHz単位の周波数の数字を回して合わせる。
- C : 1MHz単位の周波数の数字を回して合わせる。
- D : 100KHz単位の周波数の数字を回して合わせる。

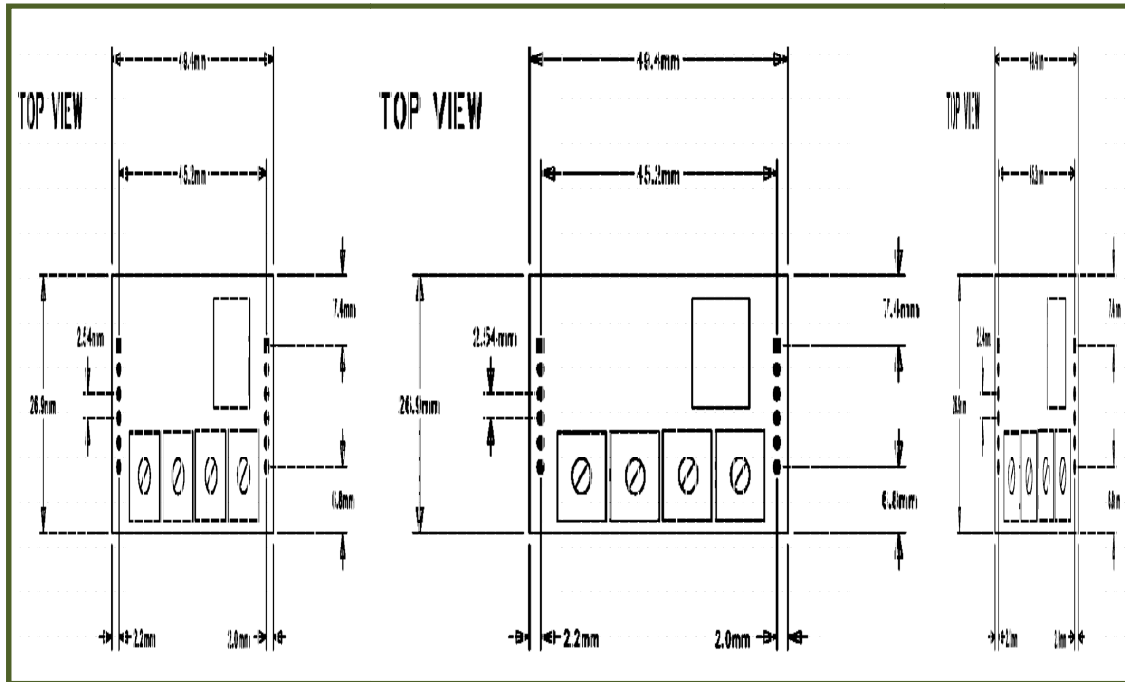
*** CPU(Micom)でSerialに周波数を入力する方法 ***

1. 周波数選択スイッチを“0000”にセットしてください。
2. MCU Interface端子にSerial Data(TTL-Level)で下記のように伝送します。
例) 受信周波数89.6MHzの場合 : 89.6Mを伝送すればできます。(9600-8-1-N)

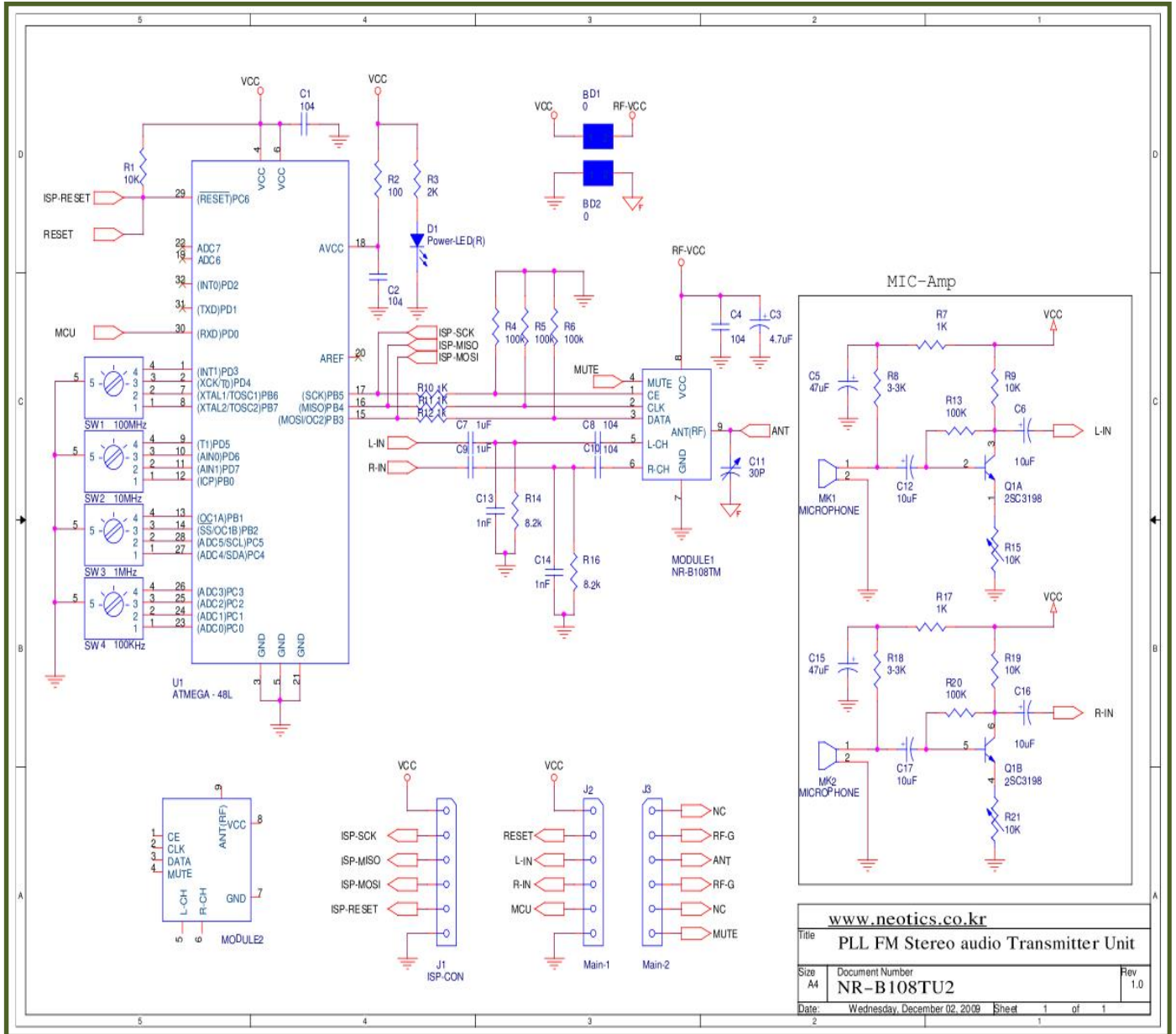
*** アンテナは NR-B108専用アンテナ(PN-ANT-FM)または FM用アンテナを使ってください

** L-IN または R-INは TV, Radio, VTRなどのラインオーディオ信号連結時直接連結可能であり,コンデンサーマイクを使う場合にはマイクアンプ回路を通じて入力してください

. PLL方式 FMステレオラジオ用送信機ユニットの大きさ



. PLL方式 FMステレオラジオ用送信機ユニットの使用法 (例)



******* 参照および注意(確認)事項 *******

- ・ ご使用の前に、取扱説明書の記載内容を十分に検討と確認した後、ご使用してください。
- ・ 本製品(部品)を他の機器と接続してご使用の場合、接続される各機器の特性を確認した後、ご使用してください。
- ・ 本製品(部品)は、使用環境やユーザーの使用方法や他の接続装置との接続状態に応じて、記載されたパフォーマンスと機能が異なる場合または誤動作や動作不能が発生することがあります。
- ・ 本製品(部品)が、無線(RF)送信製品の場合は、無線の出力強度を低出力(Low-Power)でテストの後、高出力による製品(部品)が破損または誤作動がないように遮蔽(シールド)またはアンテナ延長ケーブルなどで影響を受けないようにしてください。
- ・ 無線(RF)の送信/受信製品の場合、外部電源装置またはスイッチングアダプタその他 AC/DCコンバータなどの電源を使用する場合、電源装置からのノイズ音(試験)などが無線(RF)送信/受信機に混入されて送信/受信時のノイズが聞こえないようにしてください。
- ・ 本製品(部品)が、無線(RF)送信/受信製品の場合、無線通信のセキュリティ性がないため、通信のセキュリティに反する内容の通信を禁止し、機器相互間渾身の可能性があります。
- ・ 本製品(部品)のハードウェア、ソフトウェア、その他の関連機能は、性能向上のため予告なく変更することがあります。